

2009春季生活闘争

納得のいく交渉で早期決着をしよう



中執会で交渉・妥結状況の報告がされました

09春季生活闘争のとりくみ状況を確認する

紙パ連合は四月十日、第八回中央執行委員会をひらき、〇九春季生活闘争のとりくみ経過、各組合のとりくみや妥結結果について確認しました。ここでは、今次闘争の経過と現段階での状況について報告します。

情報認識

●全般の情勢 二〇〇九春季生活闘争は物価の上昇で目減りした賃金をベースで獲得することを基本に要求案の策定に入ったが、サブプラ

紙パルプ・紙加工工業は、原油燃料高騰分の価格転嫁がようやく実つきたところに、景気の急激な悪化により需要が減退し、生産調整のため一時帰休を実施するなど各社の業績は総じてマイナス方向になっている。

要求の考え方

●連合の要求方針 連合は、経済が悪化する中で、消費意欲を向上させ内需拡大することで景気回復につなげ、内外需バランスの取れた経済を目指すために、「これ以上景気悪化を防ぎ、企業倒産と失業を増やさないために、〇九春季生活闘争を、景気回復と生活防衛のために全力を挙げるとりくむ」として闘争を推進した。

ヤマ場にむけたとりくみ

●拡大Hグループ会議 第一次集中決着日を間近に控えた三月十四日の拡大Hグループ会議で今

紙パ連合の産別要求方針は、連合方針、経済・産業・企業動向、雇用・生活実態などを総合的に勘案し、産業・企業を取り巻く環境は先行き不透明な状況にあるが、「実生活の維持・向上をはかる」ことを大方針とした。第二次集中決着日にむけて三月二十日にSグループ会議を行い、全般の春闘情勢、第一次集中決着日から現在までの状況、出席組合のこれまでの交渉内容などについて情報交換を行い、第二次集中決着日にむけて各組

拡大阻止分として二千元以上とし、生活改善の範囲は所定内賃金を中心に各組合に一任した。一時金要求は、社会水準確保を追求するとともに、産業・企業動向、会社諸施策に対する組合員の協力・努力への成果還元を踏まえ要求基準を「年間五・〇ヵ月中心、期毎二・五ヵ月中心」とした。

Table with 12 columns: 規程別, 組合員数, 平均賃金, 要求率, 妥結率, 前年比, 2008年, 2009年/4/8現在. It provides detailed financial and performance data for various union categories.

現時点での要求・回答・妥結状況 【賃上げ】 要求については、大部分の組合が賃金改善の要求となっている。現段階での回答・妥結状況は、前年との比較が可能な五十三組合の内前年比増額となったのは五組合、同額は十四組合、半数以上が減額となった。

【一時金】 要求については、年間五ヵ月・期毎二・五ヵ月中心の産別要求基準に沿って、各組合がとりくむことを確認した。合が全力で粘り強い交渉を行って相乗・波及効果をはかっていることを意図し、組合員の実質生活を確保するため、「賃上げは最低限確保する」として交渉を推進した。

Table with 12 columns: 規程別, 組合員数, 平均賃金, 要求率, 妥結率, 前年比, 2008年, 2009年/4/8現在. It provides detailed financial and performance data for various union categories.

2009年 年間集約組合一時金平均要求・妥結一覧表(同一組合同比)① 規程別, 組合員数, 平均賃金, 要求率, 妥結率, 前年比, 2008年, 2009年/4/8現在. This table summarizes the annual average requirements and settlements for various union categories.

今後は、未解決組合に対し自主立て早期解決をはかるべく連絡を密にしてとりくんでいくことをめざす。また、要求策定から回答を引き出しまでのとりくみ経過や、経営側の主張点の洗い出し、今後の課題を整理した上で、七月の定期大会において全体のまとめを行う。



三寒四温の日々も過ぎ去り、日増しに暖かくなってきた。春になると、切り株や根本から新芽が大きく伸び始めるのが「ひこぼえ」といわれる。何年も何十年も、年輪を重ねて枝を伸ばし、葉を茂らせてきた営みが切り倒されればすべてが無くなってしまふ。それでも、何も言わずに新しい芽を出していく、当然のように新しい一歩を踏み出している。

今年も何十年も、年輪を重ねて枝を伸ばし、葉を茂らせてきた営みが切り倒されればすべてが無くなってしまふ。それでも、何も言わずに新しい芽を出していく、当然のように新しい一歩を踏み出している。今年も何十年も、年輪を重ねて枝を伸ばし、葉を茂らせてきた営みが切り倒されればすべてが無くなってしまふ。それでも、何も言わずに新しい芽を出していく、当然のように新しい一歩を踏み出している。



グループ別による模擬労使交渉

コミュニケーションの大切さを学ぶ

— 第5回ニューリーダーズセミナーひらく —

紙パ連合は、四月三～四日の二日間、東京・ホテルマリナーズコート東京において、次代を担うリーダーの育成を目的に「第五回ニューリーダーズセミナー」をひらき、総勢六十名が出席しました。今回のセミナーでは、テーマを一つに絞り、労使関係を顧客関係と捉えて、相手の満足を通して自分たちの利益に結びつける交渉術・テクニックを学ぶ「労使交渉・協議の進め方」について学習し、講義の中にも実践を多くとり入れた内容としました。

二日間にわたり模擬労使交渉をはじめ、内容の濃いセミナーとなりました。二日間、各グループ代表者からの感想記事をご紹介します。

貴重な勉強



テクノ北越労働組合

村山 和義

プログラムの中で、労使交渉・協議の進め方について大変貴重な勉強、経験になりました。

また、コミュニケーションの大切さを改めて実感し、今セミナーで学んだ傾聴を活用し、積極的に組合員の声を聞いていきたいと思えます。ありがとうございました。

がとう御座いました。会社側の心理を体験



王子特殊紙労働組合富士支部

栗田 透

セミナーは、一方的に聞かばかりでなく、常に実践に参加していく講習だったのですごく楽しく学べました。

二日目の講義では、会社側と組合側とに分かれた実践交渉で会社役になった時は、普段会社側がどだけ優位にたった交渉をしているのか体験できて、会社側の心理も理解できたので、良い体験をさせてもらいました。

早速実践したが



紀州製紙労働組合大阪支部

神崎 洋光

はじめてセミナーに参加し、先ず始めに、BEST主義である「明るく・楽しく・元気よく」を最大の課題としたセミナーで、コミュニケーション力では聴く、共感する大切さがよく理解できました。

早速単組に戻り、コミュニケーションを意識した上で面談を、心掛けていきたいと思えます。先日、ISOの定期審査で実践しましたが結果は...

BEST主義の活動



㈱トヨ労働組合

山川 哲央

このセミナーでコミュニケーションの重要性の再確認ができ、経験で学ばしかなかった労使交渉の進め方がよく理解できました。

労使交渉に生かす



金量製紙新労働組合

西藤 英紀

執行部に入りまだ経験

また、組合執行部内でも、講義の内容を共有し組合の活性化に繋げていきたいと思えます。

共に勝つ事が大切



立山製紙労働組合

高橋 正宏

初めてセミナーに参加し、労使交渉といえは勝つか負けるかというものと思っていました。労使共に会社の存続を目指している事は同じであり、共に良い、共に勝つという関係になる事が大切だと分かりました。

このセミナーで学んだ事を、今後の交渉に生かしていけるよう頑張りたいと思えます。

組合活動に繋げる



南光運輸労働組合

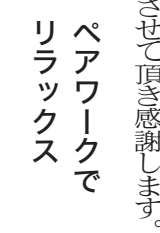
佐藤 勝

今回のセミナーで私は二つの大きな収穫を得る事ができました。一つは紙パ連合に加盟する多くの単組・支部の方々と様々な意見交換ができた事です。

二つ目はWIN・WINを考えた、SWOT分析

を行う事です。今後は、この経験を生かし、労使交渉のみならず、より良い組合活動に繋げていきたいと思えます。とても貴重な勉強をさせて頂き感謝します。

ペアワークでリラククス



丸住製紙新労働組合

森 省二

今回のセミナーは「労使交渉の進め方」ということで、難しく思っていたが、講師の方は参加者がリラククスできるような、ペアワークも含めたコミュニケーションをとりながらの講義は楽しく受講でき、また模擬交渉ではWIN・WINのワークシートで協議内容を事前に打ち合わせを

大変興味を持った



大津板紙労働組合

山本 幸治

今回のセミナーは「労使交渉の進め方」ということで、難しく思っていたが、講師の方は参加者がリラククスできるような、ペアワークも含めたコミュニケーションをとりながらの講義は楽しく受講でき、また模擬交渉ではWIN・WINのワークシートで協議内容を事前に打ち合わせを

勝利に向けてスタートのざきしんや後援会事務所開設

日本製紙労組 八代支部

八月開催の熊本県八代市議会議員選挙に向け、五月八日に「のざきしんや後援会事務所」を開設します。

これからは支部の組織力が試され、勝利の鍵は一人一人の手に委ねられます。

ただでさえ暑い八代の夏、工場方針である「心は熱く、頭はクールに」工場労使一丸となって市議会議員選挙の勝利を目指します。

投票日に向け各単組・支部の皆様方の御支援をどうぞ宜しくお願いいたします。

また、八代にお越しの際は是非、事務所にお立ち寄り頂き、八代の夏と事務所特製「かき氷」をご賞味ください。



コミュニケーション力を高める為、組合員の気持ちを心で聴き、信頼関係を築く事の大切さを改めて感じました。組合側、会社側に分かれて模擬労使交渉を実践形式で行い楽しく学べました。

自分たちの会社をなお一層良くするために今回のセミナーで学んだ事を生かし、組合活動に役立てていきたいとおもいます。

「コミュニケーション力」では、大変難しさを感しましたが、今回学んだ事を今後生かして行きたいと思えます。

多くの事を学ぶ



特種製紙労働組合

井出 康

セミナーの内容は、コミュニケーションスキルなど自分としては大変興味を持って取り組む事ができ、「楽しむ・参加する(本音で考える)・仲るのだ」と思いました。



中越バルブ労働組合川内支部

横山 雄一郎

セミナーに参加させて頂き、多くの事を学ばせてもらいました。

その中でも労使交渉を進めて行く上で重要なのは、要求するのではなく組合側の方から提案して労使一体となり、話し合いを進めて行く事で、より良い働きがいのある職場つくりを形成して行けるのだと思いました。